

科目名	P-Time	学年	1・2年	コース		単位数	3	担当者	
-----	--------	----	------	-----	--	-----	---	-----	--

1 目 標

情報収集能力と分析能力

主体的に考え、調べ、まとめていく力を養うとともに、自ら課題や問題点を見つけ、自ら解決するために、情報収集・分析能力を高める。

多様な方法による表現能力

多様な表現方法を経験することによって、表現能力の育成を図るとともに思考力を養う。

主体的な進路選択と進路決定力

「総合的な学習」を通して主体的に進路選択、進路決定をするために必要な知識と能力・態度を育てる。

2 到達目標

主体的に情報を収集・分析しそれをまとめ、他の人にわかりやすく発表したり文にしたりできること。

主体的な進路決定のために必要な知識と能力・態度を養うこと。

3 成績評価の方法

提出物・自己評価・相互評価・教師の評価をにより総合的に評価します。

主体的に積極的に取り組めたかということが重要な評価のポイントになります。

結果だけではなく途中の過程も大切です。まじめに取り組みましょう。

4 学習者へのメッセージ

第1学年においては、主に教科の内容に基づいたカリキュラムとします。その上で「国語、英語、地歴・公民、数学、理科」をそれぞれグループに編成し、各グループごとに問題発見や学習の技法を身につけます。保健体育等についてもそれぞれの教科の特性を生かしつつ、発展段階の基礎づくりを行います。その仕上げとして1学年の最後にまとめとして「小論文学習」を行います。

第2学年においては、さらに広いテーマ・類型に関して、修学旅行や城北祭等の行事ともリンクさせながら、1学年で身につけた知識や技法を生かして、情報収集や分析を行うとともに問題解決を考え、完成段階としての表現の機会を設けます。このテーマ・類型は各人の進路選択とも関連するものです。

進路選択や進路決定に役立つ講演や説明会などの行事をいろいろと用意しています。まじめに取り組んで自分の進路選択に役立ててください。

「小論文入試」「AO入試」「推薦入試」などの表現力や思考力をみる大学入試が増える傾向にあります。ちなみにいずれかの学部・学科で小論文を実施している大学は全体の約8割あるといわれています。「P-Time」はテストの点数に直接は関係しませんがまじめに取り組みましょう。

5 使用教材

教材「 P-Time ノート 」 「スクラップブック」等

6 自己評価

1年間を振り返って到達目標を達成できたか、自己評価をして、今後の課題を明らかにしよう。

到達目標 [] [] []

課 題

A：十分、達成できた。 B：だいたい達成できた。 C：努力が不足した。

7 年間授業計画

第1学年（基礎的段階と小論文）

月	単元（章，節など）	重点目標
4 1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成法 ・情報収集法 ・説明・表現法 ・実験観察による情報収集・科学的な思考法 ・論理的思考法 ・健康管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なことを学習し発展段階に生かせるようにする。
1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文 	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文とはどういうものかを知る。 ・読み手を納得させるためには何が必要かを知る。 ・情報収集の仕方・まとめ方

第2学年（発展段階）

月	単元（章，節など）	重点目標
4 1 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベート 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集・説明表現法を発展させる。 ・説明・表現法を発展させる。 ・論理的思考法を発展させる。
9 1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集・説明表現法を発展させる。 ・説明・表現法を発展させる。 ・論理的思考法を発展させる。